

## 金日成主席は朝鮮人民の偉大な領袖

全連盟ボルシェビキ共産党中央委員会書記

ニーナ・アンドレーエワ

ベラルーシ・チュチェ思想研究協会会長

V. B. ゼリコフ

2022年4月15日、金日成主席の生誕110周年を意義深く迎えます。

朝鮮民主主義人民共和国の永遠なる主席である金日成主席は、チュチェ思想の創始者、朝鮮人民軍の創建者、朝鮮労働党の創建者です。

金日成主席は、1912年4月15日万景台の愛国的で革命的な家庭で生まれました。

当時、朝鮮は日本帝国主義の植民地支配のもとにありました。金日成主席は、民族的受難の環境で成長しながら、幼年時代から愛国主義精神と侵略者にたいする反抗精神を身につけました。

金日成主席は、10代に革命の壮途について時から逝去する最後の瞬間まで、革命偉業に一生をささげました。

金日成主席は、父の遺訓を体し、吉林毓文中学校に入学しました。

この学校で金日成主席は、独自にマルクスとレーニンの著書を熱心に耽読しながら、マルクス主義の革命理論を研究し、学生の間で思想啓蒙活動をくり広げ、彼らの指導者となりました。1926年10月に金日成主席は、新しい世代の青年中核で「打倒帝国主義同盟」を結成しました。

このように金日成主席は青年時代に早くから独自に朝鮮革命の前途を開拓しはじめました。金日成主席の活動舞台は、日に日に満州の樺甸、撫松、吉林、卡倫、五家子、孤榆樹一帯へと拡大しました。金日成主席は、各地に革命組織を組織し、その周囲に各階層の大衆を結束しました。

金日成主席は回顧録「世紀とともに」の中で「打倒帝国主義同盟の当面の課題は、日本帝国主義を打倒して朝鮮の解放と独立を成就することであり、最高目標は朝鮮に社会主義・共産主義を建設し、ひいてはすべての帝国主義を打倒して世界に共産主義を建設するというものだった」と書いています。

当時、金日成主席は、他の同志たちとともに祖国と民族のための革命の道で生きても死んでも運命をともにしようという誓いを立てました。

1930年6月、金日成主席は、歴史的な卡倫会議で朝鮮革命の自主的な進路を示しました。会議で金日成主席は、朝鮮革命を成功裏に遂行するためには抗日武

装闘争を組織展開し、広範な反日愛国勢力を結束し、党創立の準備活動を早めることが必要であることを示しました。

反日闘争の旗を高く掲げて力強い活動を展開してきた金日成主席は、1932年4月25日、朝鮮の最初の革命的武装力である抗日遊撃隊（朝鮮人民革命軍）を創建しました。

金日成主席は、創建されて間もない遊撃隊の主力を率いて南満州と北満州の広大な地域に進出して、いたるところで日本侵略者に痛撃を加えました。金日成主席は、朝鮮独立軍及び中国反日部隊との共同戦線を形成して、すべての反日愛国勢力を日本帝国主義に反対する聖戦に呼び起こしました。

共産主義的中核幹部らが準備され、朝鮮人民革命軍が鋼鉄の隊伍に成長した1930年代の後半期に入って、金日成主席は、朝鮮革命を発展させるための作戦基地である白頭山遊撃根拠地を創設しました。

白頭山密営を中心とする白頭山の密林の中には、強力な密営網が形成されました。

金日成主席は、白頭山根拠地にしっかり依拠して、抗日武装闘争を基本にする全般的朝鮮革命を指導しました。

1936年5月に金日成主席は、朝鮮における反日民族統一戦線組織であり、全民族的な愛国勢力を統一的に指導する強力な地下革命組織である祖国光復会を創建しました。わずか数か月間に、祖国光復会には数十万名の人々が網羅されました。朝鮮人が住んでいる満州の地域と朝鮮のすべての地域に祖国光復会の組織網が稠密に形成されました。

一方、遊撃隊内には闘争の試練の中で鍛えられ、点検された先進闘士たちで党団体が組織されましたが、これは解放後、複雑な情勢の中で適時に党を創建する上で大きな意義をもちました。

1945年8月、ソ連軍が関東軍を撃滅することにより、日本の植民地支配から朝鮮を解放するための有利な条件がつけられました。国の北部にたいする解放は、金日成主席が引率する朝鮮人民革命軍部隊との緊密な協同作戦のもとに実現されました。抗日武装闘争での輝かしい勝利によって、朝鮮民族は自主権を取り戻して国の独立を達成し、人民の前には明るい新生活への道が開かれるようになりました。

1945年は受難も多かった朝鮮に、自由と独立、平和をもたらしました。

金日成主席の指導のもとに、朝鮮は新社会を建設する道に入りました。

醸し出された情勢と革命の要求を明哲に洞察した金日成主席は、解放された朝鮮に、独立した自主的な民主主義国家を建設し、建党、建国、建軍の3大課題

を遂行することについて示しました。

金日成主席のエネルギッシュな活動によって 1945 年 10 月 10 日、革命の参謀部である朝鮮労働党が創建されました。

党を創建した金日成主席は 1945 年 10 月 14 日、40 万名の平壤市民と対面し、新しい民主朝鮮を建設するために団結することを呼びかけました。金日成主席は、高揚した人民の政治的熱意をさらに発揮させて、労働者階級と農民、各階層の勤労者の大衆団体を組織しました。こうした抜けない活動によって 1946 年 2 月 8 日、平壤では北朝鮮臨時人民委員会が組織され、金日成主席が委員長として選挙されました。

金日成主席の指導のもとに臨時人民委員会が土地改革とその他の民主主義改革を実施し、産業国有化法令を採択することにより、労働者たちと農民は工場と土地の主人となりました。国の経済は、力強く発展し始めました。

こうした成果にもとづいて、金日成主席は 1946 年 11 月 3 日、朝鮮人民の歴史上初となる民主主義選挙を実施しました。

北朝鮮人民会議第 1 回会議では、金日成主席が率いる最高主権機関である北朝鮮人民委員会が組織されました。1948 年 3 月、朝鮮労働党第 2 回大会で、金日成主席は祖国の自主的統一路線を闡明し、革命的民主基地をさらに強固にし、党を組織的、思想的に強化するという課題を示しました。

同年の 8 月に朝鮮の北と南で総選挙がおこなわれ、1948 年 9 月 9 日に朝鮮民主主義人民共和国の創建が厳かに宣布されました。

朝鮮人民の一致した意思によって、金日成主席が朝鮮民主主義人民共和国内閣首相として推戴されました。

共和国が創建されたことにより、朝鮮人民は革命と新しい生活創造の強力な武器を自分の手にとらえることができました。しかし、朝鮮人民の敵は、これを目の上のこぶのように思いました。北半部における社会主義建設を阻止し、南半部における民族解放闘争を圧殺するために、帝国主義者は 1950 年 6 月 25 日、朝鮮民主主義人民共和国に対する武力侵攻をおこないました。

金日成主席は、全人民を戦争の勝利へと組織動員しました。

6 月 26 日、金日成主席は、歴史的な放送演説「すべての力を戦争勝利のために」の中で、朝鮮人民がおこなっている戦争の正義の性格を明らかにし、全人民と人民軍将兵が侵略者を撃滅する戦いに、こぞって立ち上がることを呼びかけました。

金日成主席は、戦争の勝利を保障するために前線と後方を一つの強力な統一体に転換させ、人民軍を強化し国の経済を戦時体制に改編し、後方を強固にする

ための非常措置を講じました。

金日成主席は、戦争の各時期と各段階に、人民軍部隊の作戦と軍需生産を巧みに指導しました。

百戦百勝の鋼鉄の総帥である金日成主席の賢明な指導、人民軍战士们の大衆的英雄主義と比類のない勇敢さ、後方の労働者たちと農民たちの献身的な労働によって、朝鮮人民は 1950—1953 年間の祖国解放戦争で勝利を収めました。

アメリカは取り返しのつかない軍事的、政治的及び道徳的惨敗を喫し、1953 年 7 月 27 日停戦協定に調印しました。

全朝鮮人民の一致した熱望を反映して、朝鮮民主主義人民共和国最高人民会議常任委員会は、戦争を輝かしい勝利へと導いた金日成主席に、朝鮮民主主義人民共和国英雄称号を授与しました。

戦争が終わった後、朝鮮人民は、人民経済の復旧に取り掛かりました。

金日成主席は戦後、社会主義の基礎を築くための総体的課題と戦後の復旧建設の基本方向を明示し、重工業を優先的に発展させながら軽工業と農業を同時に発展させるという経済建設の基本路線を示しました。農村では農業協同組合を組織することを計画しました。

金日成主席のエネルギッシュな指導によって、人民経済のすべての分野で計画課題が成功裏に遂行され、特に農業部門では 1958 年 8 月に協同化が完成されました。

朝鮮民主主義人民共和国には、勤労人民大衆があらゆるものの主人となり、勤労者大衆の利益のために奉仕する朝鮮式社会主義制度が樹立されました。

社会主義制度の樹立は、金日成主席の業績です。今日、朝鮮は、尊厳高い自主、自立、自衛の社会主義強国へと変わりました。

去る 70 年間、アメリカは朝鮮民主主義人民共和国を圧殺し、自分らに従順でない人民を抹殺しようと自国の武力と現代的な戦争手段を動員して、終始一貫あらゆる挑発を仕掛けてきました。しかし、社会主義建設にたいする金日成主席の賢明な指導、軍事重視路線の堅持、そして領袖、人民、党、軍隊の一枚岩のような統一団結があったがゆえに、朝鮮は帝国主義者のあらゆる策動を粉碎し、いかなる侵略者も手出しできない難攻不落の要塞として変わりました。

金日成主席の生誕 80 周年を迎える年に平壤で発表された「社会主義偉業を擁護し、前進させよう」という平壤宣言が採択、発表されました。その時から今まで、世界の多くの政党、団体が平壤宣言に署名しました。

社会主義が人類の理想であるということを確認し、世界の進歩的政党が社会主義の再建のために団結して戦うことを呼びかけたこの宣言は、世界的範囲で

社会主義運動を新たに発展させる上で強力な推進力となりました。

金日成主席の賢明な指導のもとに、朝鮮民主主義人民共和国は力強く前進して工業と農業を成功裏に発展させてきました。

金日成主席は、人民を慈父の愛情で見守ったので人民に愛されました。

金日成主席は、工場と農場、科学研究機関、人民軍部隊で、頻繁に人民に会いました。言い換えれば金日成主席は、つねに人民とともにおられました。そのようなことで朝鮮人は、金日成主席を民族の慈父であると呼んでおり、金日成主席の誕生日を太陽節として記念しているのです。

金日成主席は、日常生活において非常に素朴であったし、相手にたいしてたいへん親切であり、細やかに心を配りました。

金日成主席は卓越した政治家、革命家、総帥、理論家であり、社会主義建設の有能な実践家でした。

金日成主席はチュチェ思想を創始しただけでなく、それを社会主義社会建設の革命実践に積極的に具現しました。金日成主席が創始したチュチェ思想を、今日、多くの革命家が研究しており、国際的な大会とセミナーで討議しています。多くの国々にチュチェ思想研究団体が組織されましたが、わがベラルーシでもわたしが率いるチュチェ思想研究協会が活動しています。

わたしは、チュチェ思想研究組織の大会に2回、つまりコロombo（スリランカ、2002年）とパリ（2003年）でおこなわれた大会に参加しました。

金日成主席は、社会主義建設の理論と実践に関する多くの著作を発表し、実感があがり芸術性の高い、8巻からなる回顧録「世紀とともに」で、抗日革命時期と社会主義建設時期の闘争について叙述しました。

金日成主席は、国際主義者でありました。金日成主席は、諸国人民の民族解放闘争と反帝闘争に物心両面にわたって支援をおこないました。

金日成主席は、生涯の全期間に渡って、世界の136か国の政治家と社会活動家と接見しました。金日成主席は、政党と国家指導者、科学研究機関と大学、国際機構と国連専門機構から多くの勲章、メダルを授かりました。

金日成主席が収めた業績の一つは、金正日総書記を革命偉業の後継者として育てたことです。金正日総書記は、強力な戦争抑止力を備えるようにして帝国主義者の戦争挑発策動を断固粉碎しました。

金正日総書記の業績は、金日成主席の卓越した活動とともに不滅であるでしょう。

今日、朝鮮民主主義人民共和国が達成したすべての成果は、金日成主席の構想と思想が具現された結果です。

金日成主席が創建した朝鮮人民軍は、社会主義の頼もしい守護者であるだけでなく、社会主義建設の力強い主力軍です。朝鮮人民軍は、新たな世界戦争を挑発しようとする帝国主義の策動に対処して警戒心を高めて平和を守っています。

今日、社会主義朝鮮の陣頭には、人民の指導者である金正恩総書記が毅然と立っています。

金正恩総書記の指導のもとに、朝鮮民主主義人民共和国は金日成主席が示し、金正日総書記が成功裏に継承した社会主義建設路線を、確固と堅持しています。

金正恩総書記によって、社会主義強国建設は日増しに加速化されています。

社会主義朝鮮は、社会主義の道に進む諸国の人民に自主的発展の模範を示しながら、高度に発展した社会主義強国をめざして翼を広げたチョンリマ（千里馬）のように空高く駆けています。

帝国主義は、鋭い歯をむき出しにし、核戦争で人類を脅威していますが、次第に未来の共産主義社会に席を明け渡しながら、歴史舞台から追い出されています。